

ほん

『東京外環道の真実 住宅の真下に巨大
トンネルはいらない!』 丸山重威 著

いま東京では、住宅の地下40以上に直径16メートルの2本の巨大なトンネル工事がすすめられようとしている。それは東京から外に延びる高速道路を結ぶ東京外環道。交通渋滞解消がうたい文句だったものの、自動車交通量も減り、2兆円の総事業費。しかも大深度地下の公共利用のために、私権がおよばないため補償がない。各地の地下トンネル工事で、陥没、水がれ、など生活や環境への影響が出ていて、この工事でもシールド工法による酸欠気泡が川面で確認されている。

本書は大深度法の危険性にもふれ、さまざまな計画をえぐり出している。



価格：1600円＋税
発行：あけび書房
電話：03(3234)2751